

- 問1 鎌倉時代、源頼朝が朝廷から設置の承認を得て、各地の荘園や公領に配置した役職を何といいますか。この役職は、土地の管理や年貢の徴収、警察や裁判などの役割を担いました。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. 検断使 2. 守護 3. 地頭 4. 問注所執事
- 問2 当時の寺院建築について、豪華な装飾を排した質実剛健な造りであると説明されている資料があります。このような文化背景を持ち、鎌倉幕府や武士の層から厚い支持を受けた禅宗の背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
1. 「南無阿弥陀仏」と唱えるだけで誰でも救われるという簡潔な教えが、多忙な武士の生活に合っていたため。
2. 貴族文化の流れを汲む華やかな儀式を導入することで、武士の地位を朝廷と同等に高めようとしたため。
3. 座禅によって精神を鍛える厳しい修行が、命を懸けて戦う武士の理想や価値観に適合したため。
4. 加持祈祷によって現世の利益や戦いでの勝利を約束する教えが、幕府の政治的安定に寄与したため。
- 問3 鎌倉時代の御家人の相続について記した記録によると、代を重ねるごとに領地を複数の子に分け与える慣習が続けられていました。このような相続方法が、幕府の支配体制に与えた大きな影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
1. 土地の所有権が実力のある庶子に集中したため、惣領を中心とした一族のシステムが崩壊し、農業生産力が向上した。
2. 相続争いを防ぐために幕府がすべての所領を没収したため、御家人は地頭としての権利を失い、公家が再び土地を支配した。
3. 一族の団結力が強まったことで惣領の権限が拡大し、幕府の統制を受けずに独自の軍事行動をとるようになった。
4. 領地が細分化されたことで個々の御家人の経済力が低下し、幕府への奉仕である軍役を果たすことが困難になった。
- 問4 13世紀後半、フビライ・ハンが建国した中国の王朝は日本に対して二度にわたる侵攻を行いました。長崎県松浦市の海底にある鷹島神崎遺跡では、当時の木製のいかりや武器、軍船の一部が発見されています。この侵攻を行なった王朝の名称として正しいものはどれですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
1. 宋 2. 明 3. 元 4. 清
- 問5 鎌倉時代の1232年、3代執権の北条泰時が「御成敗式目（貞永式目）」を制定した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
1. 朝廷の権限を強め、天皇や公家が武士を統制するための新しい法律を確立するため。
2. 中国の律令をそのまま導入することで、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を整えるため。
3. 承久の乱の後に増加した、地頭と領主の間などの領地をめぐる争いを、公平に裁判するため。
4. 江戸幕府の基礎を固めるために、大名が勝手に城を修理したり婚姻を結んだりすることを禁じるため。
- 問6 鎌倉時代の僧侶である一遍が、諸国を巡りながら「南無阿弥陀仏」を唱えて踊ることで教えを広める様子を描いた絵巻物は何ですか。 (2019年 愛媛県公立入試 類似)
1. 鳥獣人物戯画 2. 一遍上人絵伝 3. 信貴山縁起絵巻 4. 伴大納言絵詞
- 問7 鎌倉幕府を支えた仕組みとして、将軍と御家人の間には、土地の権利を保証する代わりに軍役などの義務を果たすという、互恵的な関係が築かれていました。この中世武士社会の根本となった主従関係を何と呼びますか。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
1. 御恩と奉公 2. 班田収授 3. 身分統制 4. 封建制度
- 問8 北条泰時が御成敗式目を制定した目的や、その性格について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
1. 江戸幕府が、大名が勝手に城を補修したり婚姻を結んだりすることを制限するために制定した。
2. 聖徳太子が役人の心得を示すために、仏教や儒教の教えを取り入れて制定した。
3. 徳川吉宗が、裁判の迅速化と刑罰の不均衡をなくすために、過去の判例をまとめて制定した。
4. それまで不明確だった武士社会の慣習や道徳を成文化し、公平な裁判の基準を示すために制定した。
- 問9 一二二一年に起きた承久の乱について、この出来事が起こされた目的と、中心となった人物の組み合わせとして最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 高知県公立入試 類似)
1. 後鳥羽上皇が、北条氏から朝廷の実権を取り戻すために兵を挙げた。
2. 北条時宗が、元軍の襲来に備えて全国の武士を統制するために命令を出した。
3. 後醍醐天皇が、足利尊氏と協力して鎌倉幕府を倒すために兵を挙げた。
4. 平清盛が、武士として初めて太政大臣になり政治の実権を握るために兵を挙げた。
- 問10 鎌倉時代に成立した新しい仏教の動向と、それに関連する文化的な出来事について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
1. 一遍が曹洞宗を広めるために全国を歩き、踊り念仏を始めた。
2. 親鸞が禅の教えを広めるために『喫茶養生記』を著し、薬草としての茶を推奨した。
3. 道元が比叡山で浄土真宗を開き、念仏を唱えるだけで救われると説いた。
4. 栄西が中国から臨済宗を伝え、茶の栽培方法や喫茶の習慣を広めた。
- 問11 平氏が壇ノ浦の戦いで滅亡した後、源頼朝は関東を本拠地として武家政権の確立を進めました。頼朝が平氏討伐に協力した弟の義経を追放した際、義経をかくまったことを理由に軍を送り込み、平泉を拠点としていた勢力を滅ぼした出来事を何といいますか。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
1. 承久の乱の鎮圧 2. 奥州藤原氏の征伐 3. 島原の乱の鎮圧 4. 元寇への対応
- 問12 鎌倉時代に栄西や道元によって広められた禅宗は、厳しい修行や座禅を通じて悟りを得ることを特徴としています。この教えが当時の武士たちの間で高く評価され、受け入れられた理由として最も適切な説明を、次の中から選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
1. 加持祈祷によって現世での病氣平癒や一族の繁栄を約束したため
2. 阿弥陀仏の救いを信じて念仏を唱えるだけで救われるという、簡潔な教えだったため
3. 法華経こそが国を救う唯一の教えであると説き、幕府の権威を強固にしたため
4. 自らの精神を鍛え、厳しい規律を重んじる姿勢が、当時の武士の気風に合っていたため
- 問13 鎌倉時代後半、二度にわたる元軍の侵攻（元寇）を退けた後、幕府の支配体制は揺らぎ始めました。戦いには勝利したものの、幕府に仕える「御家人」の生活が困窮し、不満が高まった理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 秋田県公立入試 類似)
1. 元軍との戦いにおいて、幕府が御家人に領地の半分を返還させる「徳政令」を強制的に出した。
2. 元軍に勝利したことで宋との貿易が途絶え、物資が不足して急激なインフレーションが起きた。
3. 防衛のための戦いであったため、幕府は恩賞として御家人に分け与える新たな土地を確保できなかった。
4. 幕府が御家人よりも足輕を優遇する軍制改革を行ったため、伝統的な武士の特権が失われた。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 地頭	源頼朝が1185年に設置を認めさせた地頭は、個別の荘園や公領（国衙領）ごとに置かれました。主な職務は、現地での年貢の徴収や土地の管理、そして犯罪者の取り締まりといった警察・裁判権の行使です。これにより、幕府の力が全国の土地に及ぶようになりました。
問2	答え 3 座禅によって精神を鍛える厳しい修行が、命を懸けて戦う武士の理想や価値観に適合したため。	禅宗の「自ら厳しく律して悟りを目指す」という精神性は、質実剛健を尊ぶ武士の道徳観と深く結びつきました。幕府の拠点である鎌倉には建長寺や円覚寺といった大規模な禅寺が建立され、幕府の政治や文化に大きな影響を与えました。選択肢にある「念仏」は浄土系の宗派、「祈祷」は密教などの特徴です。
問3	答え 4 領地が細分化されたことで個々の御家人の経済力が低下し、幕府への奉仕である軍役を果たすことが困難になった。	鎌倉時代初期の武士社会では、複数の子に所領を分け与える「分割相続」が一般的でしたが、代を重ねるごとに一人が所有する領地が小さくなる「領地の細分化」という問題が発生しました。これにより、御家人は馬や武器を整える経済的な余裕を失い、幕府に対する最も重要な義務である「いざ鎌倉」の際の軍役を十分に遂行できなくなりました。この経済的な衰退が、のちの幕府滅亡へとつながる大きな要因の一つとなりました。
問4	答え 3 元	モンゴル帝国の第5代皇帝フビライ・ハンが、現在の中国に「元」を建国しました。1274年の文永の役と1281年の弘安の役という二度の日本侵略（元寇）において、元軍は暴風雨などの影響で大きな被害を受けました。松浦市の鷹島神崎遺跡は、沈没した当時の軍船が残る水中遺跡として国の史跡に指定されています。
問5	答え 3 承久の乱の後に増加した、地頭と領主の間などの領地をめぐる争いを、公平に裁判するため。	1221年の承久の乱を経て、幕府の支配力は西日本まで拡大しましたが、それに伴い地頭（武士）と荘園領主（公家など）の間で領地をめぐる紛争が急増しました。北条泰時は、それまでの武士社会で行われていた慣習（武家慣習法）を整理し、武士たちに納得感のある公平な裁判の基準を示すためにこの法典を制定しました。なお、大名を統制する法律は江戸時代の「武家諸法度」であり、混同しないよう注意が必要です。
問6	答え 2 一遍上人絵伝	鎌倉新仏教の一つである時宗をひらいた一遍が、全国を行脚して民衆に「踊り念仏」を説く姿を記録した作品です。当時の人々の服装や住居、風景などが写実的に描かれており、中世の社会を知るための貴重な歴史資料として評価されています。
問7	答え 1 御恩と奉公	鎌倉幕府は、将軍が御家人の所領を保証する「御恩」と、御家人が将軍のために命をかけて戦う「奉公」という土地を介した強い絆によって成り立っていました。このような主従関係は、日本の中世社会における武士のあり方を象徴するものです。
問8	答え 4 それまで不明確だった武士社会の慣習や道徳を成文化し、公平な裁判の基準を示すために制定した。	鎌倉幕府の支配地が全国に広がる中で、土地をめぐる争いを解決するために、誰もが納得できる明確なルールが必要となりました。御成敗式目は、武士の「道理」や「慣習」を文字に起こしたものであり、公家や寺社の支配地には適用されないという限定的な性質を持ちながらも、武家法の模範として長く尊重されました。
問9	答え 1 後鳥羽上皇が、北条氏から朝廷の実権を取り戻すために兵を挙げた。	鎌倉時代初期、幕府の実権を握る北条氏に対して、朝廷の政治的権威を復活させようと計画したのが後鳥羽上皇です。一二二一年に上皇は北条義時の追討を命じましたが、北条政子の演説によって幕府軍が団結し、短期間で朝廷軍は敗北しました。よく似た出来事として、後に鎌倉幕府を滅ぼす後醍醐天皇の動きがありますが、年代や人物を混同しないように注意が必要です。
問10	答え 4 栄西が中国から臨済宗を伝え、茶の栽培方法や喫茶の習慣を広めた。	鎌倉新仏教の開祖たちはそれぞれ異なる教えを広めましたが、臨済宗の栄西は大陸の文化である茶を日本に定着させた人物としても重要です。道元は曹洞宗、一遍は時宗、親鸞は浄土真宗の開祖であり、それぞれの活動内容は異なります。栄西は禅の修行だけでなく、実利的な側面からも文化に大きな影響を与えました。
問11	答え 2 奥州藤原氏の征伐	源頼朝は、対立した弟の源義経をかくまった奥州藤原氏を滅ぼすため、1189年に大規模な軍勢を東北地方へ送り込みました。これにより、平泉を中心とした奥州藤原氏の勢力は滅亡し、頼朝は日本全域にわたる軍事的な支配権を固めることとなりました。
問12	答え 4 自らの精神を鍛え、厳しい規律を重んじる姿勢が、当時の武士の気風に合っていたため	禅宗は、念仏のように他者の力（他力）に頼るのではなく、自分の努力で精神を高める「自力」の教えです。死と隣り合わせで戦い、日々の自己鍛錬を欠かさなかった武士にとって、禅宗のストイックな精神性は非常に共感しやすいものでした。これが、のちの武士道などの精神形成にも影響を与えることとなります。
問13	答え 3 防衛のための戦いであつたため、幕府は恩賞として御家人に分け与える新たな土地を確保できなかった。	鎌倉幕府の主従関係は、将軍が領地を保証・支給する「御恩」と、御家人が軍役を果たす「奉公」で成り立っていました。しかし、元寇は外国からの侵略を阻止する防衛戦であり、勝利しても奪える敵地がなかったため、莫大な戦費を負担した御家人に十分な恩賞を出すことができませんでした。これが幕府への忠誠心を低下させ、倒幕への動きに繋がりました。